

出水市

4.3%減の232億700万円

12年度
予算案

小水力発電を試験

出水市は22日、2012年度当初予算案を発表した。一般会計総額は232億700万円、11年度当初比4.3%減。小水力発電を試験的に行う「マイク

09年度から行っている市病院事業への運転資金貸し付けは、11年度当初予算比9億円減の5億円を計上した。当局は、常勤医増に伴う収益改善が見込めることや電子カルテ導入などをあげ、「経営改善が図られた結果」と説明している。

燃岳の降灰による土石流に備え、避難所に倉庫などを整備し防災拠点化する事業に約2千万円を計上。宮崎県初の常設の家畜防疫消毒ポイント設置には約500万円盛った。

ロ水力発電施設整備事業」など新規で盛り込んだ。27日開会の市議会定例会に提案する。歳入は市税約48億1900万円（11年度当初比0.4%減）、地方交付税87億1400万円（同12.9%減）など。歳出のうち人件費は約52億9200万円（同0.3%減）。小水力発電施設は、同市高尾野町大久保の「本町ため池公園」に設置。高尾野川から取水

また、五つの私立幼稚園が保育もできる認定こども園となる事業助成に約3千万円、山之口地区で予約状況でルートなどを決める乗り合いタクシーを試行する地域公共交通対策事業に約400万円を計上した。歳入では、市税が11年度当初比0.8%減。歳出のうち、人件費は職員定数減などで同5.7%減だった。